

平成 28 年度 第 3 回焼津市公民館運営審議会 議事録

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 17 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分
- 2 場 所 焼津公民館 第 5・6 会議室
- 3 出席者
(委 員) 齋藤育子委員、長島博雄委員、永井鉄朗委員、平田瑞江委員
伊藤忠雄委員、法月さち子委員、保科洋子委員、山口秀夫委員
山田次雄委員、西村とみ子委員、大滝由美委員

(事務局) 宮崎生涯学習部長、河野生涯学習部次長兼社会教育課長、関社会教育課主幹
田中社会教育担当主査、吉川焼津公民館長、八木豊田公民館長
岡本小川公民館長、池村東益津公民館長、金高大富公民館長
小泉和田公民館長、谷澤港公民館長、藤本大村公民館長、鈴木大井川公民館長
- 4 内 容 **【報告事項】**
 - (1) 平成28年度公民館事業実績について
 - (2) オオグソクムシ巡回展示及び歴史講座の進捗状況について
 - (3) 和田地域交流拠点施設（和田公民館）整備事業について**【審議事項】**
 - (1) 全館共通テーマによる講座の開催について
 - (1) 開会のことば（河野生涯学習部次長兼社会教育課長）
配布資料の確認
 - (2) 生涯学習部長あいさつ（宮崎生涯学習部長）

本日は、お忙しいところありがとうございます。はや3月ということで、今年度最後の審議会となりました。今年度につきましては、皆さんには長時間のご審議をいただきまして、12月には新たな主催講座の企画ということで、提言書をいただいております。ありがとうございます。先日、社会教育委員会という会議が開かれ、その中で、市の施策の中でも、社会教育の分野、地域と学校との関わり方、家庭教育、居場所づくりなど色々な分野で幾つかの課題がでて、公民館が地域の拠点として住民の拠りどころとなっていくことが、非常に大切であって、その中で解決できる課題も多いのではないかとということで、これからの公民館のあり方が非常に重要なテーマの一つではないか、という意見が社会教育委員会の中でも多く出されました。このような点を踏まえて皆さんからいただいたご提言を活用していきたいと考えています。また、皆様方におかれましては、任期の2年がまもなくということで、2年間に亘りたくさんの意見をいただきまして、ありがとうございました。今後とも、公民館行政、更には教育行政、市政全般ということで、引き続き協力をいただきたいと思います。それでは本日のご審議につきましてよろしく願い申し上げます。
 - (3) 会長あいさつ
本日は、第3回公民館運営審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。

本年度も残すところ数日となりましたが、各公民館においては主催事業並びにコミュニティ事業について、順調に運営されているものと伺っております。

本日は、本年度の講座等の公民館事業実績と、オオグソクムシの巡回展示及び歴史講座の実施状況、それから和田公民館に関わる和田地域交流拠点施設整備事業について報告します。本日の審議事項としては、今後の全館共通テーマによる講座についてご意見を伺いたいと考えております。皆様のご協力により議事が進行できることを期待いたしまして、あいさつに代えさせていただきます。

(4) 報告事項

河野次長 ありがとうございます。本日、太田委員と高富委員からはご欠席ということで、ご報告をいただいておりますが、委員の皆さん過半数が出席しておりますので、公民館条例施行規則（第10条第2項）の規定により、本会議は成立しておりますことを報告させていただきます。それでは、議事に入りたいと思います。なお、議長につきましては、公民館条例施行規則に従い（第9条第2項）、伊藤会長をお願いいたします。それでは議事の進行につきまして伊藤会長よろしく願いいたします。

伊藤議長 伊藤でございます。議事の進行にあたり、ご協力をお願いします。議事に入ります前に、本日の会議録の署名についてですが、長島委員にお願いしたいと思います。よろしければ、拍手をお願いします。

～（拍手）～

ありがとうございます。それでは、議事に入ります。報告事項（1）平成28年度公民館事業実績について、各公民館長から説明をお願いします。

吉川館長 お手元の資料の1を参考にご覧ください。

今年度の焼津公民館での自主講座は、36講座、自主グループは、自主講座から自主グループに移行しました「百人一首を楽しもう」を含む14グループを開講し活発に学習しました。

高齢者学級では、開級式で、いきいき旅倶楽部さんを講師に「友達っていいですね」と題し、学級生同士の交流をうみだすきっかけづくりとなる講座を行いました。

レディースセミナーでは、市職員による健康や歴史に関する出前講座を活用し講師料がかからない講座を取り入れて実施しました。

子ども・親子対象講座は、どの講座も未就学児年齢の参加が多い状況でございます。

成人短期講座では、例年人気となっている文学、歴史、日本の歌の講座を複数回開催するとともに、現代的課題への対応講座として「マイナス金利」「スマホ」「冬の省エネ」などをテーマに開催しました。

コミュニティ活動の中で青少年育成関係としては、県教育委員会の補助金を活用して、今回、第4回目となる通学合宿を2泊3日で実施し、焼津東小と南小の児童27名が参加しました。合宿中は、4つの班に別れ料理やゲームなどの活動を通じて活動し、近所の個人商店で食材の買い物をするすることで、地域の大人との繋がり作りも行いました。

その他に、施設利用の幅を広げるため、ロビーを活用しまして、藤枝北高等学校生のアートマイル壁画、藤枝特別支援学校焼津分校生の作品、ふじのくに地球

環境史ミュージアムミニ博物館、変わりあさがおの展示等を開催しました。

八木館長

豊田公民館では、高齢者学級と成人学級が各1学級。それから、自主講座43講座と自主グループ11グループの合計56講座が平成28年度に活動してきました。

特徴的な事業としましては、子ども対象講座では「静岡科学館る・く・る」の科学コミュニケーターが全9回のプログラムで開催した子ども向けの科学教室「豊田科学研究所」、成人対象講座では、利用者層を拡大すべく開催した「男性ヨガ教室」が、月1回の自主講座として継続講座となったことが挙げられます。また、子ども親子対象講座では、若い世代の人が多い豊田地区において大好評の「ベビーマッサージと親子体操」を開催しました。このような長期講座のメリットは、講座内容が充実していること、そして、メンバー同士のコミュニケーションを図れるなどの相乗効果が期待できます。

また、地域課題の解決に向けた講座としては、介護をしている人の悩みや相談を聞いて心をケアする「地域ふれあいサロン」の開催、また助け合える地域を目指した「救命講習会」を豊田地域の人材に協力をいただき開催しました。

コミュニティ関連では、小学生以上を対象に開催していた恒例の耐寒ハイキング事業において、体力に自信の無い人や未就学児童でも完歩可能な「距離の短いコース」を新設して対象者を拡大し、幼児から高齢者まで誰でも参加できるイベントにして開催しました。

その他、館独自の取組みとしては、公民館の空き部屋を「学生のための勉強部屋」として開放し、昨年1月から12月末までの一年間で、中学生・高校生・大学生は延べ1300人の利用がありました。そして勉強部屋を利用していた大学生が公民館祭りでボランティアとして協力してくれる形で、学生が公民館活動への興味や理解を深め、地域住民と世代間交流をするきっかけにもなっており、来年度も続けて行く予定です。

岡本館長

小川公民館の今年度の自主講座については新規の「産後ママの骨盤ケア」「育児ママの骨盤ケア」を含めて37講座を開講しました。自主グループについては新たに2つの講座が自主グループへ移行して25グループでの活動となりました。

次に、高齢者学級は10回、女性講座と成人学級はそれぞれ11回開催しました。子ども・親子対象講座では、新しい公民館の特徴である屋上を使った星空観察会やIHとなった料理実習室を活用した料理教室、お菓子作りなどを開催しました。

成人短期講座では、「朗読と解説による文学鑑賞講座」や「中高年向けスマートフォン教室」、「現代を賢く生き抜くライフプランニング講座」といった男性が興味をもって参加していただけるような講座も開催しました。

最後にコミュニティ関連では、子どもを対象としたお菓子作りや福祉関連の各種研修会を開催したほか、新しい公民館になって3回目の公民館まつり、それから石津海岸公園までを往復する歩け歩け大会、小川おやじの会と共催の「こども焼きいも大会」などの行事を盛大に行うことができました。

池村館長

東益津公民館では、今年度、自主講座を57講座、自主グループを7講座開講し、その他にも高齢者学級、成人学級であります木曜講座、自治会ごとの社会学級を各11回開催しました。一覧表には記載されていませんが、どの学級も文化、教養、健康など様々な分野の学習を行い、幅広い知識の習得が日常生活にも役立てていただいていると考えます。

一方、子ども・親子向けの短期講座として、お菓子作りや工作講座、成人向け

の単発講座として簡単ストレッチ講座やオカリナ体験講座を開催しました。子ども向けの茶道教室と成人向けの中華料理講座では新たな地元在住の講師をお呼びすることができ、地域人材の発掘と活用という点で成果のあるものだったと思います。

東益津地区の特徴として、コミュニティ組織と地域団体の活動が活発であることが挙げられます。今年度は地域団体の発案で地域の住民と子供たちに向けた文化講演会を開催し、公民館も共催で事務方のお手伝いをしました。講演会にはアホウドリの研究者である静岡市出身の長谷川先生をお迎えして、アホウドリの保護活動についてお話ししていただきました。公民館だけで行うのは大変な事業でしたが、地域との連携で行えたことは公民館にとって良い経験であり、今後につながるものだと思っております。

金高館長

本年度、大富公民館では、41の自主講座に加え、成人学級並びに高齢者学級をそれぞれ1学級ずつ開催しました。また、自主講座の卒業生により構成された自主グループも昨年より1つ増え、合計で15グループとなり、意欲的に学習を継続しております。

短期講座については、年間を通じ公民館主催及び地域コミュニティ主催で併せて51講座開催しました。

今年度の短期講座は、昨年度に引き続き、地元在住または地元到店舗を構えている方に依頼し、出来るだけ地元を知ってもらうという講座を開催しました。一例を申し上げますと、地元の講師による地元の食材を使った「おいしいトマト料理講座」を開催しました。

また、今年度、特に意識したのは、公民館利用者層の拡大を図るため、土日の講座を多く開催しました。例として、春のジャズコンサート、ベトナム料理講座、歴史講座、コーヒーとクラシック、多肉植物の寄せ植え教室、管弦楽団による室内音楽会、津軽三味線コンサートなどです。

また、子育て世代の親の参加を促すため、託児出来る講座を開催しました。

その他、親子で参加できる講座として親子3B体操や夏休み子ども教室など開催しました。

また、流行や若い世代を意識した加圧ダイエット体験講座やベリーダンス体験教室を開催しました。

更には、国際理解講座として、ネパール伝統舞踊鑑賞講座を開催し、実際に踊り方を教えてもらうなど好評を得ました。

来年度につきましては、引き続き利用者の拡大と地域課題の解決に向けて事業展開を図っていききたいと思います。

小泉館長

和田公民館の自主講座については49講座となります。そのうち5つの講座が、今年度自主グループとして活動をしています。

学級長会議は年2回実施し、高齢者学級と女性講座は、昨年度同様11回ずつ実施しました。また、消防・防災訓練についても2回実施しました。

子ども親子対象講座、成人短期講座、コミュニティ関連事業については資料のとおりですが、コミュニティ関連事業として地域歴史講座や文学講座などは、地元在住の方を講師としてお招きし、地域の人材を活用したり、育成することを意識して主催講座を実施してきました。雅楽コンサートも地元和田神社での例祭時に演奏するさかえ雅楽会の方にお越しいただき、実際に雅楽楽器に触れさせてもらいながら日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。その他、小さなお

子さんを持つ母親の参加促進のため、地域福祉の事業として託児サービスを実施し、若いお母さんが講座に参加でき大変好評でした。

その他、提言書にも取り上げられる地域課題解決への取り組みとして、地震や水害など自然災害への対応として、実際に被災地に入って感じた実体験を基に、地域の防災体制をどのようにしていくのかを、男女双方の視点で考える講座を開催し、女性講座・高齢者学級・地域自主防災会合同で地域の課題について考える機会を設けました。次年度以降も提言書に基づき、地域の課題を解決していく講座を積極的に考えていきたいと思えます。

施設については、後ほど社会教育課より和田地域交流拠点施設整備事業についての説明がありますが、来年度いっぱい現在の和田公民館は閉館となりますので、その間、地域の人たちの思い出が詰まった公民館を大事に使っていきたいと思えます。

谷澤館長

港公民館では今年度、自主講座は 50、自主的に活動していく自主グループは 13 ありまして、合計 63 講座が実施されております。また、主催講座である高齢者学級、女性学級、父親学級を毎月開催しています。どの講座とも講座生の高齢化が進んでおり、若い世代の確保が課題であると感じています。

子ども向けの講座としては、お菓子作り教室やパン作り教室、一般向けの単発の講座では、地域の人のご要望がありまして、スマートホンの講座を行い、毎年、人気の圧力鍋を使った料理講座や手作り味噌講座なども開催しました。

また、お宝発掘講座と題してオオグソクムシの巡回展示、歴史講座については 3 月 11 日に行いましたが、大勢の方に参加いただき、好評でありました。

地域コミュニティ関連の事業では、資料のとおり「ママとベビーの体操教室」などを行いましたが、主に子ども達の育成の一環として自治会、学校、保護者、港小育成会、地域住民の協力による木屋川ボート大会を 7 月に、港地域の福祉についての現状を理解してもらい、不足している福祉への関心をもってもらうための港地域ささえあい講座を 3 回シリーズで行いました。

また、高齢者などの認知症予防にいきいき脳活講座やそろばん教室を行いました。3 月 12 日には大塚ハレルヤさんの三味線コンサートを行い、120 名を超える申し込みがあり、お断りするほどの盛況ぶりでした。

地域住民のつながりを高めるといったことを目的に、公民館を活用した地域住民の居場所づくり事業を毎月 2 回金曜日に行い、地域コミュニティ組織が主催、運営並びに開催し 1 年半が経ちましたが、毎回 40 人を超える方々に来ていただいています。

また、3ヶ所の地域公会堂でも自治会が運営する居場所も立ち上がっており、その輪が広がっています。

藤本館長

大村公民館では、自主講座 40、自主グループ 2 グループが年間を通じ活動しました。また、高齢者学級・成人学級・社会学級については、各 11 回開催しましたが、港公民館同様、各学級とも学級生の高齢化が進んでおり、若い世代の確保が課題であると感じています。

子ども・親子対象講座は、毎年好評の夏休み体験学習として、焼津の基幹産業を学習する「焼津水産業施設見学会」、藤枝北高校との連携事業「麴菌劇場とおしょうゆ作り教室」、大村地区の有志団体「瀬戸川を愛する会」と協働で行った環境教育事業「瀬戸川遊び隊 瀬戸川で遊ぼう！」では、竹細工で作った水鉄砲の的

当てが大変好評でした。

また、成人短期講座は、健康維持、増進に向けて「からだに負担をかけない歩き方講座」や、「まちじゅう元気塾健康増進ヨガ教室」などを開催しました。その他、歴史講座・市民大学講座・災害対策講座なども開催いたしました。

コミュニティ関連事業としては、夏休みに小学生が地域の高齢者と交流するミニデイサロン訪問事業を7会場で行い、地元の福祉施設「慈恵園」を訪問し、入所者の方々と交流を行う福祉施設訪問事業も実施しました。また、地域資源を活用した自然保護観察事業として、今日ご出席の山田委員、長島委員にもご指導、ご協力をいただき「瀬戸川バードウォッチング・ウォーキング」を行い、20種類以上の野鳥を観察することができました。

鈴木館長

事業運営報告の前に、大井川公民館まつりについてご報告いたします。今年の公民館まつりは2月25日、26日の土日に晴天の中、開催することが出来ました。1日目のオープニングでは大井川ジュニア合唱団の合唱やJ A大井川の農産物PRユニット“茶果菜”によるライブなどで盛り上がり、ロビーでは大井川港特産のしらすや桜えび、惣菜やお菓子、農産物の販売により多くの来館者があり、両日に亘り自主講座の講座生による発表や展示などの公民館の活動をお伝えすることが出来ました。今回は、同じ日に近隣の大井川保育園やミュージコでイベントがあったので、近くの公園を臨時駐車場として使用させていただいたり、まつりの開催時間を午前中心にするなど混雑しないように配慮して、来場者に対応することができました。

次に事業運営報告ですが、自主講座が40、社会教育団体が22の合計62講座や、高齢者講座、女性講座などを開催いたしました。特に女性講座は受講者が多かったので今年は2クラスに分けて、座学や運動、作り物やコンサートなど、充実した内容で喜ばれました。

子どもや親子を対象とした講座では、大井川ジュニア合唱団は小学生から中学生の約50人が定期的に練習を重ね、今年で22回目の定期演奏会をミュージコで開催し、毎回楽しみにされている方がいるようで好評でした。また、親子社会見学を始めて開催しまして、鰹のなまり節を作る工場や深層水ミュージアムを見学し、焼津の水産物を学ぶことが出来ました。

成人向けの単発講座では、シニア向けスマホ講座を2回、陶芸教室、年越し蕎麦うち教室、居酒屋レシピ講座を始めて開催しましたが好評でした。また、減塩味噌作り教室は大変人気がありますが、3回のうち1回は、お勤めされている方を対象に平日の夜に開催しました。

コミュニティ関連事業では、子供対象の講座で夏休みはかどり隊と題して、オリジナルアイスクリームやマリンうちわ作り、和食の料理教室を開催しました。また、敬老の日お楽しみ会や女性と眠りの関係の講演会を開催し、幅広い年齢層を対象に事業を実施しました。

以上が、平成28年度の公民館事業実績となります。

伊藤議長

説明が終わりました。全ての公民館から事業実績についての報告がありましたが、本報告に関して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

最後の大井川公民館から報告があった鰹節について、ヨーロッパへ輸出する話があって、日本で初めて焼津から海外へ輸出するという事で、とても良いことだと思いました。

- 山田委員 鰹節のことで、特産であり、伝統的な焼津の水産業の基盤だと思っているが、最近のニュースで焼津の水産会社が鰹節を入れたアイスクリームの販売を始め、お土産として、焼津を訪れた方に求めてもらいたいということで、身近な感じがして、大変、心強く思っています。
- 山口委員 大富公民館から土日の講座開催を多くしたという報告があったが、好評だったかどうか教えてください。
- 金高館長 土日に開催したということで、大変参加者に好評で、普段、仕事で平日には来ることができないという方に来てもらうことができ、意識してこれからも行っていきたいと思っています。
- 長島委員 幾つかの公民館で地元の講師に依頼したという報告があったが、探し出すのは、公民館長がピックアップするのか、地元の人に聞いて探してくるのか、テクニックを教えてください。
- 池村館長 東益津は、お茶の講師については、コミュニティの役員を昨年から務めている方で、自宅でお抹茶をやってらっしゃるという話を伺って、お願いしました。
また、料理の講師は、中華料理のコックさんですが、私の同級生が地元に住まして、頼んでやってもらいました。
- 金高館長 大富では、地元のトマト料理講座とういものを行いました。公民館を普段使っている利用者の中にスキルを持っている方がいらっしゃること、それから自主講座の講師の方に依頼したり、地元の地区の中で普段利用しているお店などをお願いし、新規開拓をしたりとか様々です。
- 八木館長 豊田公民館では、救命救急講座を地元のインストラクターの資格を持った方にお願いしておりまして、今年で2年目になります。その方は、窓口に来て「協力させてほしい」、「ボランティア的な形で活動したい」ということでしたのでお願いしました。ただ、一人で見ることができる人数は10人位とのことでしたので、申込みを受けていく中で10人、20人、30人と増えてしまった時も、同じインストラクターの資格を持った仲間を呼んでいただき開催するなど、とても志の高い方がいたということが一つあります。それから、英語の講座を昨年、開催しているのですが、豊田幼稚園が公民館の前に関連して窓口にたまたま来た方がいました。見た目は全くアメリカ系の外国の人でしたが、日本語がとても流暢でしたので、その方に英語の講座について聞いたところ、「自宅で既に行っている」ということをお願いするなど、話しかける中で見つけるようなこともやっています。
- 伊藤議長 ほかに、ご意見、ご質問はありませんか。私の所感ですが、皆さんからいろいろな報告がありましたが、良い講座をたくさん行って、地域にとってますます発展に繋がるような事柄がたくさんあって、うれしく思います。これからもよろしくお願いします。それでは、報告事項（2）オオグソクムシ巡回展示について、説明をお願いします。
- 吉川館長 オオグソクムシの巡回展示についての現在までの開催経過報告をさせていただきます。

資料の2をご覧ください。

焼津を楽しむ「地域のお宝発掘講座」第1弾としまして、オオグソクムシの巡回展示を1月5日から実施しています。

本日は、3月8日までの開催経過について、報告させていただきます。

オオグソクムシの巡回展示は、1月5日から3月26日までの69日間、市内9公民館のロビーを会場に巡回し開催しています。

展示会の広報方法としましては、広報やいづ1月号及び全公民館だより1月号への記事掲載、ポスターの掲示、報道機関等への投げ込みを行いました。

資料の方が1枚の両面となっておりまして、開催の状況なども掲載してありますが、今月8日までに、焼津公民館を皮切りに、豊田・小川・東益津・大富・大井川・和田の7つの公民館での開催が終了し、本日まで港公民館で実施しており、明日から最後の大村公民館で展示が始まることになっています。

4番の展示及び体験に記載してありますように、水槽で7匹のオオグソクムシを展示、これは、前回の公運審で皆さんにご覧いただきました水槽よりも1.5倍ほど大きい物に入れ替えて展示をしています。7匹は今のところ全て元気に暮らしています。

その他に、生態説明パネル、感想カード記載台及び掲示ボード、この掲示ボードは、皆さんの後ろのホワイトボードに貼ってあります。掲示ボードにはカラフルな紙を貼ってありますが、皆さんが書いてくれたものを1枚1枚オオグソクムシの形にして貼ってあるものになります。今日お持ちした1枚目のボードは一杯になりましたので、今は2枚目に進んでいます。その他として、紙に質問等が書かれていましたので、回答パネル、エサやり及び触れあい体験などをおこなっています。

資料2の裏側に掲載してあるものが、開催の様子の写真となっています。1枚目の様子ですが、初日には、オオグソクムシを提供いただいた長谷川久志さんがお話をしてくださいました。その後は、多くの子どもから大人まで触ったり・エサをやったりということで、直接触れ合いなどをしていただいています。2枚目の展示の様子の写真ですが、左側部分の下は、後ろに貼ってある感想の紙を貼るボードになり、右側については、「オオグソクムシ」を漢字で書くと「大」きい、「具足」の「虫」となる訳ですが、見学に来た方から、読み方について「漢字だとわかるよ。」という意見をいただき、漢字が意味を伝えるものだということを私たちの方も勉強させていただいた。後は、見学の様子、触ってみたい、エサやり、それからエサを食べている写真となっています。

資料2の表側に戻りまして、現在までの開催実績は、5番にありますとおり、開催期間は1月5日から3月8日までの約2カ月で、その間の和田公民館までの来館者数11,171人、感想カード記入数は413枚です。

報道に取り上げられた実績は、静岡新聞と中日新聞の1月6日の朝刊に掲載されましたのと、テレビ静岡の1月18日の夕方のニュースに取り上げられました。来館者からいただいた感想カードの中で多かった意見をグラフ等にまとめてみました。一番多かったのが「かわいい」、次に「泳ぎ方」や「動き」に関するもの、見た目が「ダンゴムシみたい」や「びっくりした」「おもしろい」「思ったより怖くない」「はじめて見た」などの感想や「目がかっこいいなど」の目についての意見が多くありました。

その他、少数の意見ですが、その他のところに書かせていただきました。「学校では教えてくれないことを教えてくれて楽しかった。」や「見ていて分かったこと

はもしかしたらオオグソクムシは狭い所が好きなのかなと思った。」「焼津市で注目されているながらも見る機会がなかったので身近で見ることができて良い経験になった。」などの感想もありました。

伊藤議長

説明が終わりました。本報告に関して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

～意見なし～

私もオオグソクムシを見ましたが、パネルに貼られている感想の紙には立派なことがたくさん書かれていました。

それでは、続きまして歴史講座の進捗状況について、説明をお願いします。

鈴木館長

続きまして、歴史講座の説明をさせていただきます。資料の3をご覧ください。

焼津市を楽しむ「地域のお宝発掘講座」歴史講座の実施状況について説明させていただきます。

1の広報やいづ2月1日号及び各公民館だより2月号等によるPRということで、①の表を広報やいづ2月1日号へ掲載しまして、②の記事を、各公民館の公民館だより2月号へ共通の内容で掲載しました。また、③の歴史講座ポスター及びチラシについては、資料の2枚目の裏側になりますが、こちらは各公民館の講座の内容が一目でわかるようにしたものを作成し、ポスターとチラシを各公民館や公共施設に掲載させていただき、PRしました。

1枚目に戻っていただきまして、2の各公民館の申し込み受付状況についての説明ですが、3月14日現在の状況としましては、大村公民館のみが受付を始めていませんが、どの公民館も多くの方が申し込まれており、定員を増やしたところもあります。表の左から2列目の定員の右をカッコ変更後としていますが、変更後が定員を増やした数字になります。受付人数は、8館の合計が330人、性別としましては男性が167人、女性が163人と半々の割合となっています。居住地別では、地区内の方が172人、他地区の方が151人、市外の方が7人という状況で、他地区から申し込まれる方が45%という高い割合ですので、同じ時期に開催したことで各地区の歴史も勉強してみようという意識が働き、相乗効果が表れていると思います。

次のページをご覧ください。3のしずおか県民カレッジの連携講座としての登録についてですが、第2回の公民館運営審議会において山口委員から、地域のお宝発掘講座を静岡県の県民カレッジの講座の対象として取り入れてみたらどうかというご意見をいただきましたので、静岡県総合教育センター生涯学習推進室と連携し、今回の歴史講座をしずおか県民カレッジの連携講座として登録しました。こちらのまなぼっとと書かれたものが、静岡県が運営している生涯学習情報発信システムの「まなぼっと」というホームページ画面でして、歴史講座の情報が掲載をされています。お手元にお配りしました黄色の手帳が、県が発行している受講手帳でありまして、3ページを見ていただきますと、しずおか県民カレッジに登録された講座を受講しますと、その修得した単位に応じて、ふるさと学士などの称号を授与されることになっています。今回の歴史講座の7割以上である6講座以上を受講しますと14単位を修得できることとなります。現在のところ、この受講手帳を交付した件数は8件となっています。

資料に戻りまして、次のページをご覧ください。4のアンケートの実施についてですが、今回の講座を受講された皆様にこのようなアンケート用紙をお配りし、

今後の講座を企画する時の参考とするために、回答していただくものです。今のところ港公民館、東益津公民館、大井川公民館で調査を実施しまして、残りの6館でも調査を行い、今後集計していきます。以上が、焼津を楽しむ「地域のお宝発掘講座」歴史講座の実施状況の説明となります。

伊藤議長 説明が終わりました。本報告に関して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

長島委員 今の説明で、今回、7割以上の講座出席で単位を修得できるということだったが、単発での出席でも単位はもらえるのか教えてください。

鈴木館長 全体の7割以上であります6講座以上を受講していただかないと単位は修得できません。1つだけの受講では単位を修得できない形になっています。

長島委員 今回の歴史講座以外のいろいろな所で行う講座については、例えば、2時間受講したら1単位修得みたいな、原単位的なものがあるのか。それぞれの講座によって違うのですか。

鈴木館長 今回の講座については、各1講座が1.5時間ということになっているものだから、1.5時間×9公民館（講座）で、13.5時間になり、それを四捨五入して14時間ということで、14単位ということになります。県民カレッジに登録されている他の講座については、どのように単位の計算をしているのか確認していません。

山口委員 歴史講座の受講のカウントは、どこで行っているのですか。例えば、私が受講した講座の確認は、公民館側で行っているのですか。

鈴木館長 手帳の10ページをご覧くださいますと、学習の記録になりますが、例えば、1のところに、この受講手帳をお持ちになった方に、「受講期日」、こちらは歴史講座を開催する期間、「実施機関」につきましては、初めて参加したところの公民館名を書くことにしています。「講座名」については、焼津を楽しむ「地域のお宝発掘講座」歴史講座と書かせていただき、それ以降の公民館の講座を受講した場合は、欄外に受講の日付と公民館名を記載するという形をとっています。

山口委員 例えば、6講座以上受講したことが一目でわかる出席簿みたいなものがあるのか、それとも、公民館側で個人毎の受講回数を把握し、単位修得該当者に連絡を行うのか。手帳に書くのは、1つの講座につき1つということではないのですか。

吉川館長 県の方で決まっているのが、幾つかの講座を連続で受講した場合に単位が修得できるということになっており、この9館全てを対象とさせていただかないと単位が修得できないということがベースとなっていますので、鈴木館長からも説明があったように、手帳の「実施機関」の枠に施設名を記入した後、2つ目以降の館を受講した場合には、その空いている余白の部分に館名を書いたり、押印を次々に行っていくって、狭いスペースですが、そのところで、一目で6講座以上受講していることが確認できるようにしています。

山口委員 今まで受講された方で、このことを知らない人がいると思いますが、既に3回

受講された方で、欲しいという人がいれば、フィードバックして手帳をもらうことができますか。

吉川館長 申し出があった場合には、受講済の館名も記して手帳をお渡し(交付)します。

伊藤議長 他に、ご意見、ご質問はありませんか。ないようでしたら、報告事項(3)和田公民館に関わる和田地域交流拠点施設整備事業について、説明をお願いします。

関主幹 本事業は、耐震性能が劣り、施設の老朽化が進行している和田公民館について、現在、一部空き教室となっている和田小学校の南校舎を改修して公民館として整備、そして、既存の放課後児童クラブを再配置し、また、多目的ホールを増築することで、公民館機能、子育て支援機能、多世代交流機能を複合化した和田地域の新たな交流拠点を整備するものであります。

まず、本年度は、基本設計・実施設計、そして、準備工事として、北校舎の一部改修工事を行っております。来年度は本工事を行います。

工事概要ですが、お手元の図面をご覧ください。

図面の1ページが、計画平面図になります。図面の上段右側が現在の和田小学校南校舎で、こちらに公民館と、放課後児童クラブを配置し、左側が増築部分の多目的ホールになります。

工事内容につきましては、南校舎の改修工事が、鉄筋コンクリート3階建て約1,800㎡、多目的ホールが鉄骨平屋建て約660㎡です。

1枚めくっていただいて、左側の図面をご覧ください。図面下段の1階部分には、正面の入口を入れて、玄関ホールと右側に多目的スペースを広く取ってありまして、地域の方が自由に交流できるスペースとして確保してあります。

左側の事務室の横には、子育て支援ルームを設置し、子育て世代の親子が集える場所の確保をしてあります。

そして、一番右側に、放課後児童クラブを配置してあります。なお、この放課後児童クラブについては、子育て支援課の工事になります。

図面上段の2階部分には、図書室、和室、中ホールなどを配置しております。

右側のページをご覧ください。

こちらが、3階になりますが、主に学校と共用する部分で、調理室、図工室、音楽室等を配置しております。

3階は、図面上段の渡り廊下で小学校の北校舎とつながっておりますが、南校舎側に扉を設け、学校と公民館を区切ります。鍵がなければ、通れないようにすることで、セキュリティの万全を図ります。

1枚めくっていただいて、左側の図面をご覧ください。こちらが、新たに増築する多目的ホールの平面図です。こちらは、地域の皆さんが集える機能に加え、スポーツもできる施設として設置します。

右側の図面が立面図、1枚めくっていただいて、最後のページになりますが、こちらも立面図になります。

それから、別にお配りしたカラー刷りのパースですが、こちらは建物を南側から見たイメージになります。右側の建物が公民館と放課後児童クラブ、左側が増築する多目的ホールになります。

工事期間ですが、平成29年6月上旬から平成30年2月末を予定しており、オープンは平成30年4月の予定です。

以上で、和田地域交流拠点施設整備事業の説明とさせていただきます。

伊藤議長 説明が終わりました。本報告に関して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

法月委員 立派な建物ができるようですけど、災害時には避難者の受入等の計画はありませんでしょうか。

関主幹 風水害等の避難所には、現在もなっていますが、津波の危険があれば、避難していただき、受け入れる体制は整えますので、ご安心していただきたいと思えます。

河野次長 基本は、風水害については、避難地という位置付けの中で、こちらの建物が避難所になりますが、地震災害の場合は、学校が避難地という位置付けになります。ただ、学校に避難できない場合は、こちらに来るといような形になるかと思えます。

山口委員 和田公民館から、今後、地域交流拠点施設という名前に変更になるのですか。

関主幹 公民館の機能と放課後児童クラブ機能など多目的施設ということで、建物としての名称は「和田地域交流拠点施設」となり、その中に和田公民館他施設が入ってくるというイメージです。現状では、和田公民館という名前は残る予定です。

伊藤議長 他に、ご意見、ご質問がないようですので、報告事項については、説明のとおりとさせていただきます。

(5) 審議事項

伊藤議長 次に審議事項に入ります。審議事項(1)全館共通テーマによる講座の開催について、審議に入らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

金高館長 審議事項(1)全館共通テーマによる講座の開催について説明させていただきます。資料の5をご覧ください。こちらは、平成27年度第3回の公民館運営審議会のワークショップのまとめであります。こちらに焼津を楽しむ地域のお宝発掘講座の各キーワード等をたくさん掲載していきまして、今回、オオグソクムシの巡回展示と歴史講座ということで、4の文化、歴史の④各地区の歴史ということで、歴史講座を開催し、6の漁業関連キーワードの④にオオグソクムシが挙がっていますので、これにより巡回展示を行っているところであります。今後は、全館共通テーマの講座の開催を検討していく訳ですが、今回、その他のもので特に推薦したいキーワードがありましたら、参考にさせていただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

伊藤議長 ただいまの説明にありましたワークショップでもらっている意見の中で、特に薦めたいテーマと思うものがあれば、お一人ずつ、順番にご意見をいただきたいと思えます。

山田委員 各公民館の一年間の実績報告を聞き、多彩なことが行われており、大変有り難

く思います。

同時に、各公民館でいろいろなことを考えて行っているわけですが、やはり、地域のことは、地域の公民館の土台でありますので、特に、子どものためになることを、地域の人たちにお願ひして、地域を覚えてもらうということを活発にやり、公民館活動としても活発に行っていただきたいと思います。

山口委員

今回の歴史講座に参加している人を見ますと、この歴史講座のチラシを持ち歩いていて、掲載されている講座の幾つかに参加したいという方がたくさんいることがわかりました。

折角ですので、受講手帳についての話を先ほどしましたが、このチラシにはんこを押すような欄を設けてみれば、面白いと思いました。

また、私は、小川公民館をいつも利用していますが、この講座を通じて、他の公民館に行ったところ、新鮮な感じがして、その土地の歴史にすごくわくわくしていますが、そういった意味で、3番の人材ということで、各公民館単位で、自慢できる郷土の人、現役の人でも良いですが、「おらが村の自慢できる人」シリーズのようなものを次回は期待したいと思います。

大滝委員

地域の人材をうまく活用、掘り出していただいて、各公民館で実施しているのはすごく良いことだと思いました。

高齢化社会ですけど、現役が終わった教員の方など、まだまだ元気でいっぱい知識を持った方が地域にたくさんいらっしゃるので、そういう方々に公民館に来て、いろいろな方に講座をしていただけるような場を作っていただきたいと思いました。

歴史講座については、山口委員が楽しそうに話をしてくださったので、すごく良い講座だと思いました。

歴史講座のチラシについてですが、焼津市の地図が地区分けされていて、これだけの地区に公民館が1つずつあり、地域の色がそれぞれあって、暮らしていることがわかりました。

私からは、4番の15にあるのですが、大井川地区のお祭りが大きなものが3つありまして、今日、ちょうど「藤守の田遊び」が行われる日ですが、伝統的な文化にもなっていますが、吉永の大祭など、子どもが減っている関係で、だんだん少しエネルギーが落ちているという感じがあったりするのですが、歴史講座と結びつけて、地域にあるお祭りを紹介、勉強するような機会を作っていただきたいと思いました。

西村委員

私も、生まれた時からずっと大井川地区に住んでいまして、全然、焼津地区のことは知りませんでした。

この頃は、テレビばかり見るのではなく、月1回程度は山登りをしようということで、友だちに誘ってもらい、満観峰へ月初めに登りに行っています。

高草山には、登ったことがあります。満観峰については、時々、新聞には載っていますが、麓に車を置いて、歩いていくと、結構お年寄りがいて、玄関の表札付近にいろいろなものが貼ってあって、「これは、何ですか。」と聞いたりして、自分が、いろいろな場所へ行き、一から勉強させてもらうことが、今一番の目標にしています。

皆さんの勉強されているお話を聞き、感心しながら、この会議に出席していま

す。

今後ともよろしく申し上げます。

法月委員

オオグソクムシの展示は、本当に良かったと思います。

見たこともない深海にいる生物を親子で見に行ったら、館長がバケツに入れて触らせてくれたことがうれしくて、夕食の時の話題になり、楽しい思いをさせていただいた。

それから、講座についてですが、大井川公民館の味噌作りの講座は、平日の夜開催されたということで、昼間お勤している人たちが主に参加されたのですか。

鈴木館長

意外に半数以上がお勤めされていない方が多く、お勤している方で実際に参加された方は、3、4名程度でした。

法月委員

以前、歴史講座を受講した時には、土曜日だったので、ものすごく大勢の人がいて、普段、お勤めしている男性もたくさん参加されていました。

大変でしょうが、土曜日開催の講座を増やしていただきたいと思います。

また、高齢者や定年された方が公民館に出向いてくれることは喜ばしいことですが、40代、50代の人たちにも、もう少し足を向けてもらいたいという気持ちもあり、親子の講座などを、少しずつ取り入れたら土曜日などは参加できると思います。

特に薦めたいテーマということでは、3番の人材のところは、日本ハムファイターズの増井選手の名前がありまして、大活躍していますが、もう一人、牧田投手もいまして、焼津市としては、みんなで応援していきたいと思っています。

平田委員

歴史講座に参加できなかったことは、残念ではありますが、各公民館で、「非常に好評でした。」とか、「大勢の参加者がありました。」というような話題については、講座を開催した公民館だけではなく、他の公民館にもお知らせするなどして、それぞれの公民館で講座がたくさんあって大変だと思いますが、情報を共有していただきたいと思います。

永井委員

全館共通テーマによる講座の開催ということで、歴史講座に続いて思い浮かんだことは、だんだん季節も気候も良くなってきていますので、自転車を使った観光地巡りです。

公民館毎に、公民館の範囲の中で、いろいろな場所を自転車を使って、1時間半から2時間位で回ります。

交通事故の危険をどうクリアするかという課題もありますが、貸し自転車や地域内の人なら自分の持込自転車でも良いし、他の地域を回りたい人は、車で公民館まで行き、車を預けて、貸し自転車を利用して回るなど、10名から20名位の募集になると思います。

ぶらぶら歩きながらそこにあるものを見つけていく某テレビ番組をよく見っていますが、結構面白い。地形の特徴を捉えて、専門家と話をし、普段、見逃しているような場所を面白、おかしく見せている訳ですが、焼津は、高低差はあまりないし、崖は山の方にあるかもしれませんが、いろいろな地区を探してみたら、特徴がある場所が見つかります。

川や淵などもありますし、戦争で爆弾が落ちた場所、地域で言えば、地元の小

川新町では、田子重のところ、先代が材木商で、そういう場所も案内しながら回ることができます。

昔の庄屋の家など、他から来る人は気付かない、住んでいる人にとっては、案外、面白いネタもありまして、解説しながら回ったりすると、地域への愛着や興味も湧いて、非常に面白いかもしれません。

お寺とか神社なども良いですが、もっと何気ない魅力を掘り起こして、案内しながら回れることを各公民館で行って見たら、交通事故が心配ですが、面白いと感じました。

長島委員

永井委員のお話と少し重なりますが、たくさんのお宝が既にピックアップされていますので、これらを利用して、例えば、9公民館で回るモデルコースやモデル講座を作るなど、新たに探さなくても、既にたくさん出ているお宝を利用し、お宝の少ない地域もありますから、その場合は、隣の地域のお宝を利用して行っていけば良いと思います。

全館共通ということであれば、地域の掘り起こしというようなものを共通のテーマとして、自分たちで自分の地域を掘り起こして、地域の活性化に繋げていくようなことも考えられると思いました。

齋藤委員

皆さんがいろいろな意見を言うてくださったので、全て終わっているような気がしますが、「おらが村の人材さん」みたいなご意見がありましたが、同じ地区内で話を終えるのではなく、地区をずらしてお隣の地区を紹介していくような流れで行っていく方が、知らない人に知ってもらうことができるのではないかと感じました。

それから、お宝のキーワードの中に海洋深層水がありますが、現在は、確認はしていませんが、取水できないような話も聞いていて、それに付随して、お宝の中に、「大井川の伏流水を使ったもの」というのもあり、防災その他で水への関心も高いと感じますので、取水できないということであれば、勿体ないと思いました。

河野次長

海洋深層水のホースについては、深い方のものが、多分、前の地震で壊れてしまい、それが復旧できないままの状態となっていますが、浅い方の深層水は、現在も、深層水ミュージアムの横の施設で取水できるようになっています。

伊藤議長

皆さんから一通りいろいろな発言をいただきまして、本当に言われてみれば、そのとおりの意見も出していただき、ありがとうございました。

少しまとめさせていただきますが、地域でもって発掘される方には、WBCの牧田投手のような立派な方もいらっしゃいます。また、各地域でもって掘り起こしを行うことは素晴らしいことだと思います。

それから、満観峰への山登りの話もありましたが、いつも大勢の方が登っているのを私も見えていますので、健康維持のために、続けてやってもらいたいと思います。

また、自転車を使って行動してみたらどうだろうという意見もありましたが、確かに、貸し自転車がありますので、利用したら面白いと思います。交通事故だけは気をつけていただきたいと思います。

以上で、私の話は終わらせていただきますが、何か他にありますか。

宮崎部長 話に出ました焼津出身の増井、牧田両選手が出場しますWBCの準決勝、決勝が、22日及び23日になると思いますが、スポーツ振興課では、パブリックビューイングを文化センターで行う予定です。詳細は、新聞等に載ると思いますが、ご覧いただきたいと思います。両選手を応援するような横断幕や看板も設置してありますので、よろしくをお願いします。

(6) その他(連絡事項)

河野次長 議事の進行につきましては、伊藤会長ありがとうございました。それでは、次第にあります(6)その他であります、委員の皆様、また事務局の方から何かありましたらお願いします。

～意見なし～

(7) 閉会

河野次長 委員の皆さまにつきましては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見を活かした取り組みを、来年度に行っていきたいと思います。

なお、今回でご出席いただいた委員の皆さまにつきましては、任期が5月までという中で、最後の審議会になりますが、大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第3回公民館運営審議会を終了します。本日は誠にありがとうございました。

焼津市公民館条例施行規則第11条第2項の規定により署名する。

平成 年 月 日

議長

印

委員

印